

2008年12月期決算 説明会資料

2009年2月26日

近畿日本ツーリスト株式会社



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし



2008年12月期決算の概要

2008年度からの新事業体制

KNTグループ

それぞれが専門特化した事業ユニットへ

近畿日本ツーリスト株式会社

本社

国内仕入・メイト企画

海外仕入・ホリデイ企画

団体
旅行
事業

イベント・コンベンション・
コングレス事業

国際
旅行
事業

提携
販売
事業

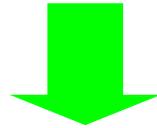
ビジネス
事業

株式会社KNT
ツーリスト

店頭
販売
事業

2008年旅行業を取り巻くマーケット環境

- 年初の円安から急激な円高へ
- 原油高騰による燃油サーチャージの高騰とガソリンの高騰
- 金融不安による景気後退と株安



- 夏場の家族旅行の不振
- 年金資産等の目減りによる消費マインドの冷え込み
- 企業関連需要(出張の自粛、招待旅行の延期など)の後退

2008年決算ハイライト

- 平成15年6月の退職給付制度改訂の際に凍結した退職手当金制度を廃止。確定拠出年金への移換、もしくは一時金として清算



連結・個別共に65億74百万円の
特別損失を計上

来期以降の営業費用が年間で約13億円削減される見込み

- 旅行業をコアとしたグループ再編の一環として、保有株式の一部を売却。



特別利益58億円9百万円(連結)計上。

2008年業績ハイライト(連結)

単位:百万円、%

	当 期	前 期	増 減	増 減 率
営 業 収 益	73,549	81,171	7,621	9.4
営 業 費 用	76,736	80,879	4,143	5.1
営 業 利 益	3,186	292	3,478	
経 常 利 益	3,157	1,162	4,320	
特 別 利 益	6,247	1,078	5,169	
特 別 損 失	7,513	5,209	2,304	44.2
当 期 純 利 益	3,738	3,908	170	

- ・前期の特別損失は旅行券等引換引当金繰入額として約49億円計上。
- ・当期の営業収益は旅行業で約75億円、損害保険業で約1億円の減少。
- ・当期の営業外損益は受取利息約6億円、為替差損約7億円等で29百万円。
- ・当期の特別利益は関係会社および投資有価証券の売却益で約58億円。
- ・当期の特別損失は退職手当金制度を廃止し、約66億円を退職一時金制度清算損として計上。

< 旅行業部門 >

- ・国内旅行会社
 - (株) KNT ツーリスト
 - (株) ユナイテッドツアーズ
 - (株) ケイアイイーチャイナ
 - 相鉄観光(株)
 - (株) ティーゲート等
- ・海外旅行会社
 - 近鉄インターナショナル
 - (USA、EUR、OCE)等
- ・その他
 - ツーリストインターナショナル
 - アシスタンスサービス(株)
 - (株) ツーリストエキスパーツ等

< 損害保険部門 >

< 再保険引受事業 > 2社
H&M INSURANCE HAWAII, INC
GRIFFIN INSURANCE CO., LTD

連結子会社: 30社(前期29社)
持分法適用非連結子会社: 2社
持分法適用関連会社: 5社(前期6社)
(ホテル業、タクシー業、
情報処理サービス業など)

セグメント別営業収益・利益

単位:百万円

		旅行業	損害保険業	その他事業	消 去	計
営業 収益	当 期	72,233	1,316			73,549
	前 期	75,832	1,417	5,708	1,787	81,171
	対前期増減率 (%)	4.7	7.1			9.4
営業 利益	当 期	2,472	294		1,009	3,186
	前 期	903	342	80	1,034	292
	対前期増減率 (%)		14.0			

- ・前期の「その他事業」にはホテル業、人材派遣業、タクシー業、物品販売業が含まれている。
- ・当期は「その他事業」の重要性がなくなったため、「旅行業」に表示。
- ・当期の「旅行業」には去年の「その他事業」の営業収益約40億円、営業利益約1億円が含まれている。
- ・「損害保険業」の減少は、旅行業の取扱いが減ることにより保険収入が減少したため。

連結貸借対照表(資産の部)

単位:百万円

	当 期	前 期	増 減
流動資産	92,932	99,434	6,501
現金預金・預け金	51,499	51,421	77
営業未収金・未渡クーポン	21,263	23,580	2,316
未収手数料・団体前払金	16,327	21,001	4,672
その他	3,843	3,432	412
固定資産	30,316	43,034	12,717
有形固定資産	7,339	7,430	90
無形固定資産	4,516	5,449	933
投資その他の資産	18,461	30,154	11,693
資産合計	123,248	142,468	19,219

- 現金預金・預け金は、営業未払金や未精算旅行券の支払いに当てられるものである。
- 投資その他の資産の減少は投資有価証券の売却による。

連結貸借対照表(負債および純資産の部)

単位:百万円

	当 期	前 期	増 減
流動負債	101,333	104,264	2,931
短期借入金	160	255	95
預り金・団体前受金	36,669	40,387	3,716
営業未払金・未精算旅行券	51,610	55,453	3,842
その他	12,894	8,169	4,725
固定負債	10,966	13,767	2,801
旅行券等引換引当金	2,749	3,675	926
退職給付引当金	551	4,003	3,452
その他	7,666	6,089	1,577
負債合計	112,299	118,032	5,733
純資産合計	10,949	24,436	13,486
負債および純資産合計	123,248	142,468	19,219

- 退職給付引当金の減少は退職手当金制度を廃止し、確定拠出年金へ移換もしくは一時金として清算したことによる。
- 純資産の減少は、主にその他有価証券評価差額金が減少した影響による。
- 自己資本比率は8.6%。

2008年業績ハイライト(個別)

単位:百万円、(%)

	当 期	前 期	増 減	増 減 率
営業収益	60,193	66,439	6,245	9.4
営業費用	62,581	66,836	4,254	6.4
営業利益	2,388	397	1,990	
経常利益	2,199	864	3,063	
特別利益	5,722	1,038	4,684	451.3
特別損失	7,741	5,581	2,159	38.7
当期純利益	3,418	3,933	514	

- ・前期の特別損失は旅行券等引換引当金に約49億円計上。
- ・当期の特別利益は関係会社および投資有価証券の売却益で約53億円。
- ・当期の特別損失は退職手当金制度を廃止し、約66億円を退職金清算損失として計上。

2008年 旅行形態別売上高・収益 (個別)

単位:百万円、%

	売上高	増減率	収益	増減率	収益率
団体旅行	139,765	1.7	20,288	5.6	14.5
企画旅行	190,779	7.5	30,800	11.1	16.1
個人旅行	105,211	11.9	5,878	22.6	5.6
国際旅行	7,595	11.1	1,187	8.3	15.6
その他	6,098	204.4	2,040	42.3	33.5
合計	449,448	6.1	60,193	9.4	13.4

- ・個人旅行の減少率が高いのは、JR販売等がKNTからKNTツーリストに移ったことによる。
- ・その他の増加率が高いのは、前期までグループ会社に計上されていた商事部門がKNTに移管されたため。

2008年 国内・海外別売上高・収益 (個別)

単位:百万円、%

	売上高	増減率	収益	増減率	収益率
国内旅行	270,903	7.0	40,827	8.1	15.1
海外旅行	164,852	6.7	16,139	16.4	9.8
国際旅行	7,595	11.1	1,187	8.3	15.6
その他	6,098	204.4	2,040	42.3	33.5
合計	449,448	6.1	60,193	9.4	13.4

- 海外旅行の収益率が低いのは、燃油サーチャージが売上高に計上されているにもかかわらず、手数料が旅行会社に入らないため。



2009年業績予想

2009年通期業績予想(連結/個別)

単位:百万円、%

	2009年通期 連結予想	2008年通期 連結実績	増減率	2009年通期 個別予想	2008年通期 個別実績	増減率
営業収益	73,400	73,549	0.2	58,100	60,193	3.5
営業利益	100	3,186		100	2,388	
経常利益	700	3,157		800	2,199	
当期純利益	100	3,738		300	3,418	

近畿日本ツーリスト株式会社

〒101 - 8641

東京都千代田区神田松永町19 - 2

ブランド戦略室 広報部

TEL: 03 - 3257 - 1661

FAX: 03 - 3258 - 4456

URL: <http://www.knt.co.jp>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は、決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記載しております業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は、様々な要因の変化により予想と乖離することもありますので、ご承知いただきますようお願いいたします。